

# 気付かれにくいASDの女の子の特徴

## ①言葉の遅れがない

子供のASDを疑う大きな要素として、「言葉の遅れ」というものがあります。最も「気づかれやすい」特徴ですが、ASDには、アスペルガーのような“言葉の遅れのないタイプ”も存在します。

そういった“言語”を話せていることで、「アイコンタクトが通じない」「指差しが通じない」「曖昧な表現が通じない」といった、“非言語コミュニケーションが苦手”というASDの特性が見過ごされやすくなってしまいます。



## ②お友達とうまく会話ができない

大人は相手の子供のペースに合わせて話を聞いてくれたり、コミュニケーションをとったりしてくれますが、子供にはそんな高等なスキルはありません。

そのため、大人とはペラペラ会話の出来る子でも、お友達とはうまく会話ができない子もいます。

しかし、周りの大人からは会話の能力がある子だとみなされているため、お友達と会話できなくて困っていることに気づかれにくくなってしまいます。



## ③不安が強い

不安が強い特性を持っているため、「失敗を恐れて行動できない」「見通しが立たない(目的が分からない)」「作業は手がつけられない」「新しい環境が苦手」といった困りごとが出てきます。

しかし、周りの人からは性格の範囲と捉えられて見過ごされてしまいがちです。



## ④適当が分からない

適当が分からないという特性を持っているため、「必要のない細部にまでこだわってしまって作業が終わらない」「たくさんの選択肢の中から適当に選ぶということができない」「ルールの例外を認められないので、臨機応変な対応ができない」「物事をゼロか百かで決めてしまうので、中間を許すことができない」といった感じで、完璧を求めてしまいます。

そのため、不必要に時間や労力を費やし、自分でも気づかないうちに疲労をためこんでしまいます。



## ⑤数字・記号・図鑑などへの執着がない

ASDによく見られる特徴として、「人とのコミュニケーションよりも、数字・記号・図鑑といった特定の物事に執着する」というものがありますが、これは女の子にはあまりない特徴です。

こういった男の子に多い特徴が“ASDの特徴”としてネットや書籍などで挙げられていることも、ASDの女の子の存在が認知されにくくなっている要因になっていると思います。



## ⑥感覚過敏(鈍磨)がある

聴覚過敏(騒がしい場所で声が聞き取れない、大きな音が苦手)、視覚過敏(光をまぶしがる)、味覚過敏(極度の偏食)、嗅覚過敏(特定の匂いをかぐと吐き気がする)、触覚過敏(服の素材が刺さるように痛くて着られない)、といった感覚過敏がよく見られます。(感覚鈍磨の場合もあります)

本人の感覚の問題なので、周りの人にはなかなか分かりづらい特徴です。



注1 発達障害の子の特性は人それぞれであり、上記のすべての特徴が当てはまるわけではありません。注2 上記はあくまでも“気づかれにくい”と思われる特徴をまとめたものであり、他にも発達障害の特徴はいろいろあります。

注3 ADHDとASDが併発している子も多く、他にもLD(学習障害)やDCD(発達性協調運動障害)が併発している場合もあります。